

刊夕日九十二月五

常磐毎日新聞

定価 一部金五銭 五部金二五銭
 廣告料 五部金五銭 一行金五銭
 日曜 祭日の翌日 休刊
 発行所 常磐毎日新聞社
 印刷所 常磐毎日印刷株式会社



思言行の一致

S O 生

(三)

子供は性急である。その思ふところに於ても少く、その行ふところも狭い彼等は眞に文字通りに言行一致者であり、思行一致者である。思と言と行とが一致すべきであるといふ原則の、原型的なるものと見て、子供はその實例とするに足るが、しかし子供の通りの思言行の一致が、大人にあらはれてゐるものとすれば、子供と大人の區別はない。従つて又そこに大人として成長した意味の事柄もない。誰も知るが如く、大人の思ふことと云ふところと、その實行するところは、多くの場合、人間の腸の長さの約九米で、身長の六倍程である。羊腸は二十四倍ある。羊腸といふ語のある所以。の時間的、空間的距離がある。こゝに大人が子供より進んで遙かに大仕掛の言行一致乃至思行一致をなし得る所以である。原則的に考へれば大人も子供も變らぬ筈で

あるが、子供の思言行一致は小規模であり、短距離であり、大人のそれは大規模であり長距離である。この事を云ひかへれば偉大なる思言行一致は思言行不一致にあると云つてもよい。思言行一致には、思と言と行との間に一致すべきはずといふ意味ではない。一致すべきではあるが、短距離や

★〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
 ○明日の献立○
 ☆〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇☆
 【朝】味噌汁・ねぎ
 小付 うい
 【晝】油揚げ飯
 小付 こんぶ
 【晩】フライ鯛 粉ふき芋
 潮汁 鯛のあら

小規模のそれではない。それ故に近眼者流的に性急的に見たる思言行一致の要求者から云はしむるならば、甚だしく思と言と行とが不一致のやうに見える。少くともそれが實行的に實現されざる限りは不一致である。しかし、その簡単に一致せざるところに、大規模の大仕掛の長距離の一致が企てられてゐることを看取しなければならぬ。故に大なる思言行一致は小なる要求の目から見ての思言行一致の要求に對して考へると、思言行一致せざるところにあ



雑詠

千真 希童

寫すかと思へば家鴨くゞるなり
 戦争ごつこ一番先鋒に死にたがり
 小刀を持たれば机を先づけり
 遠足の日だけは早い女の子
 子守唄寝入つた筈の眼をさまし
 金魚賣りながれる様に歩いてる
 改札は指を順次に切る如し
 お有難う御座いと乞食節をつけ

頭重て不快の方

フタバの磁氣

御参詣團體募集

柳津。日光團體定員超過に付第二一回募集

一、柳居津國藏尊(猪苗代湖白虎隊廻り) 自動車賃往復御一名 金二圓也

二、成田山(宇吾様) 自動車賃往復御一名 金二圓五十錢

三、日光(笠間稻荷廻り) 自動車賃往復御一名 金二圓五十錢

定員ハ各車共二十名
 定員未滿ノ節ハ勝手ラ延期致ス事モアリマス
 尚御希望ニ依リ各種團體モ御相談ニ應ジマス

主催 尼子遊覽部

電話六四〇番

川井内科診療所

川井 安子

看護婦急派

求めに應じ

のます

平看護婦會

電話三〇七番

氷水界ノ先進者 流線ケーキ

今回時代ノ要求ニ應ジ右ノ飲み物ヲ初メマシタ。御利用ハ御客様御來訪ノ折ノ御茶代用ニ、旅館、料理店様ノ御座敷用御茶ガワリニ、御子様方ノオヤツガワリニ色々御利用出來マス。何卒御試食下サイ。

魚清食堂

電話六三三

青葉にむせぶ行樂は...

絶對他に誇る幾多の經驗コース
 定評ある旅行者の良きガイド
 ...先づプランを御相談致しませう...

東京鐵道局公認
 不二タウナー
 電話三三三番

樽詰の生ビール

容量比較

生シコッキ	四合入	金四十五錢
キリン瓶詰	三合五勺入	金五十錢

平會館 電話624

全村に鳴り巨る

更生の響き

日の出一時間前一齊に

神谷村更生に青年協力

宅地も餘さず利用

神谷村は八年度
經濟更生指定村
に編入されて以
來各種の案を實
施して好成績を
擧げて居るが同
村青年團は此程幹部會を開
いた結果村當局に協力し理
想郷の建設を畫る事となり
左記事項を實施して農村共
同精神の涵養を畫ると

一、各部落に國旗掲揚場
設置の件、日本精神を宣
揚すべく大楠公六百年祭
をトし本年より實施する
ことにせり、掲揚場は各
部落の中央とし掲揚日は
國定祝祭日及び村祭日と
す、副都として纏る日の
丸を仰ぐとき村民ひとし
くその崇高さに打たれて
身氣自ら緊張するを感ず
るならん

二、「更生の響」の合圖は
時間確守の件、經濟更生
は先づ早起からのモット
ーのもとに各部落に「更
生の響」と名付くる盤木
を設けて日の出一時間前
全村一齊に打鳴らすこと
にせり、全村青年團員の
意氣に感じ早起の美風起

り隣村夏井、草野、飯野
村よりも多大の感謝をう
けつゝあり

三、禁酒會の設置、經濟
更生は早起と共に元費節
約にありとの見地より副
團長神谷一郎氏の主唱の
もとに禁酒會を設置すべ
く目下會員募集中なり、
而して本會員は絕對禁酒
を條件とし五年を一期と
し會員は一ヶ月五十錢づ
つ納付する義務を有せし
めその費を以て抽選によ
り會員を五ヶ年間に分ち
て伊勢大廟に參拜せしめ
敬神崇奉の精神を涵養せ
んとするものなり、もし
違反者は過怠金壹圓を徵
集するものなりとす

四、宅地利用奨励の件、
田畑は合理的に使用せら
れつゝあるも割合に宅地
を閉却するの傾向あり先
づ足下から築くべしの信
條のもとに蔬菜、園藝其
他の利用に努めらしめ優
秀者審査の上表彰するこ
とにせり

五、月次例會開催の件、
その際の實施事項次の如
し、一一人一研究發表、

稅務會議

協議事項

既報昨廿八、九の兩日平署
會議室で開かれた郡下各町
村の收入役及び稅務主任會
議は左記諸案を協議した

一、縣稅賦課徵收規則中
改正の件

一、縣稅賦課徵收規則施
行細則中改正の件

一、縣稅賦課徵收規則取
扱手續中改正の件

一、納稅組合設置奨励の
件

一、縣稅徵收の件

繭市場の

開始間近

郡下の養蠶家が
高値に活氣付く

石城地方の養蠶家は五十一圓臺を踏まれた沼津市場
の相場に活氣付いて上簇の準備に忙しく四倉、勿來
植田の三市場はいづれも來月十五、六日に開場され
るが昨年の御祝儀相場白二十六圓五十錢、黄二十三
圓六十錢が今春は一躍四十圓臺、三十三、四掛の物
凄く相場を示すであらうと期待されて居る

繭高値を聞き流し

止むなく蠶兒投棄

桑園が結霜被害を蒙り
極度の桑不足

下小川村の桑園は本月五日
の結霜で桑園の約二十町歩

は三割乃至四割の被害を蒙
り最近では非常な桑不足に
陥り蠶兒飼育が出来ず蠶高
値を傳へられる折柄同村の
養蠶家は三割前後の蠶兒を
投棄して蠶兒と桑葉の均衡
を保つて居る

下火の猫毛病に 相次ぐイモチ病

郡農會がボルドー消毒を

各村に奨励

既報郡下農村の苗代に發生
した猫毛病は既記の如く被
害二百町歩と云はれ草野、
神谷、川前、内郷、澤渡、
箕輪等が最も激甚な被害を
蒙つて居るが今では幾分下
火となり時を過ぎ去つた觀
ある處へ更らにイモチ病が
澤渡方面の山間地方に發生
したので郡農會は三斗式ボ
ルドー液による豫防法を各
村に奨励しつゝある

職員運動

げふ第二校

今廿九日は平第二小學校恒
例の職員運動日なので午後
一時から男先生はオールド
對ヤングの野球試合、女先
生はドッチボール大會と夫
々運動に熱中した

鹿島校落成

學務部長が臨席

既報六月一日行はれる鹿島
小學校の改築落成式には諸
橋本縣學務部長並びに古川
視學が臨席する

磐崎村の村會

村は朔卅日午前十時から村
會を召集區長選舉及び青年

決算報告

自昭和九年三月
至全 十年二月

株式會社 百澤商店

資産ノ部

金銀勘定	一、七四七
當座預金	四、三三〇
振替貯金	三、九七五
得意先勘定	二、四一七
商品勘定	二、八五五
支拂商品	一、七五〇
支拂金	一、七五〇
土地建物	七、五九〇
諸債	五、八〇〇
臨時建築費	二、五〇〇
機械器具	三、三〇〇
擔保有價證券	四、六〇〇
未拂込資本	一、四一五
合計	二五、〇〇〇

負債ノ部

保證金及店員	一、八九〇
預託主勘定	三、〇三三
仕入先勘定	一、七九三
假受金勘定	一、〇九三
商品切手	一、四〇五
未拂入金	一、〇五二
時借入金	一〇、〇〇〇
資本	一〇、〇〇〇
法定積立金	一、二五〇
諸積立金	二、六二八
當期利益金	三、六二五
各	一、二六五
右之通り候也	一九、六四五

昭和十年五月

藤沼醫院

平町・紺屋町
電話五〇七番

表看板は綿行商

其實スリが本業

郷里に舞ひ戻つた處を捕る

前科六犯の強か著

好間村字町田居住綿屋遠藤忠三(三七)は本月廿日頃から綿行商を表看板に仙臺市に入込み東一番丁其他目抜の通りでスリを働き好間村に逃げ歸つたが仙臺署の手配に依つて昨廿八日夜平署に

無賃札付で

リレー乗り

兄を慕ふ少年

仙臺迄の途中平署へ

本日平湯本間バスで年齢十四五歳の少年が植田から無賃札付で平署へ移送された、右は宮城縣栗原郡岩ヶ崎町六日町生れ田中兵内の四男馨(一七)で二ヶ月程前に東京の兄戀しさに

都に憧れ 仙臺から上野まで無賃乗車し上京はしたものの、慕ふ兄の所在さへ判らず上野驛から上野の職業紹介所へ引渡され、一度下谷御徒町の風船屋の小僧に世話されたが勤まらず逃走し千葉縣我孫子の某酒店に入つたが辛抱出来ず逃げ出し此處彼處とさまよふうち取手町に來り警察署に嘆

願してバスによりリレー的各警察署を経て兩親の手元へ無賃で送り歸さるゝ事となり海岸筋を順次移送され來つた者で明日は中村を経て仙臺に至る筈

植木祭の

期間中廉賣

好間村の組合で

好間村植木商組合は來月一日より十二日まで植木の神様と云ひ傳へられる接木太夫を祭神として植木祭を催すかこの期間中は植木の廉賣を行ふと

北白銀衛生區 平町 北白銀町衛生區長は此程改選の結果松浦貫右衛門氏が再選した

暴れ廻つて

班内を破壊

祝酒に泥酔し

小名濱出身の一等兵

小名濱町生れ鈴木道信(三三)は昨年より仙臺野砲二大隊第七中隊第二班に一等兵として勤務して居たが去る廿六日同隊の創立記念日の際祝酒に泥酔した結果班内で暴れ出し騎銃一銃劍五の軍器を破壊した外柱時計、電話機、戸棚等四十八点を手當り次第に取つて投げ班内を滅茶々に大破して目下仙臺憲兵隊で取調中だが同人は昨年も二年兵を喫つて禁錮二ヶ月に處せられた嫌はれ者である

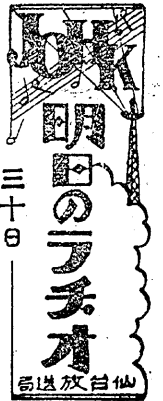
父親に告訴され

忤が懲役十ヶ月

親子喧嘩の絶えぬ家に

興味を持つ傍聴人

高久村大字下高久字前の内一二七農鈴木太吉(三三)が長男の江名町大字江名字北町湯屋業龜之湯事鈴木定彌(五六)を私文書偽造行使、公正證原本不實記載詐欺で告訴した事件の公判は昨廿八日午後一時より平區裁判所で中島判事係清田檢事立會門傳辯護士列席の下に開廷清田檢事より懲役十ヶ月の求刑に對し中島判事より求



今晩は南東風 驟雨明日は天気よくなる

明日の

後六、〇〇 子供の時間
童話劇「のら猫と金の鈴」
劇團ニッポン 童話劇部
指揮眞田明二
後六、二五 基礎英語講座
(二十二)岡倉由三郎
後七、三〇 趣味講座「田圃唄の話」柳田國男
後八、〇〇 各地田圃唄

明日の

前六、三〇 基礎ドイツ語講座 武内大造
前七、〇〇 朝の修養「天路歷程」(四)齊藤惣一
前八、〇〇 婦人講座「婦人と實際心理」(九)宇野圓空
後八、〇〇 五木曜コンサート「ジャズ」
後二、〇〇 小學生尋四の時間(國語)小林左源治
東京高師附屬校児童
後二、四〇 小學生尋五の時間(國語)井上陸軍大將
後六、〇〇 子供の時間

東京短期(本日)

寄付	大引	高値	安値
新東	一四三	一四一	一四〇
大新	一三三	一三二	一三一
新新	一三〇	一二九	一二八
新新	一二七	一二六	一二五
新新	一二四	一二三	一二二
新新	一二一	一二〇	一一九
新新	一一八	一一七	一一六
新新	一一五	一一四	一一三
新新	一一二	一一一	一一〇
新新	一〇九	一〇八	一〇七
新新	一〇六	一〇五	一〇四
新新	一〇三	一〇二	一〇一
新新	一〇〇	九九	九八
新新	九七	九六	九五
新新	九四	九三	九二
新新	九一	九〇	八九
新新	八八	八七	八六
新新	八五	八四	八三
新新	八二	八一	八〇
新新	七九	七八	七七
新新	七六	七五	七四
新新	七三	七二	七一
新新	七〇	六九	六八
新新	六七	六六	六五
新新	六四	六三	六二
新新	六一	六〇	五九
新新	五八	五七	五六
新新	五五	五四	五三
新新	五二	五一	五〇
新新	四九	四八	四七
新新	四六	四五	四四
新新	四三	四二	四一
新新	四〇	三九	三八
新新	三七	三六	三五
新新	三四	三三	三二
新新	三一	三〇	二九
新新	二八	二七	二六
新新	二五	二四	二三
新新	二二	二一	二〇
新新	一九	一八	一七
新新	一六	一五	一四
新新	一三	一二	一一
新新	一〇	〇九	〇八
新新	〇七	〇六	〇五
新新	〇四	〇三	〇二
新新	〇一	〇〇	九九

「三笠」に仕立た

遊覧船で地引網

植田町鮫川誇揚會は去る廿七日の海軍記念日に關係者を招き鮫川橋下より河口迄三笠艦に擬装した遊覧船で地引網その他の清遊を試みた

氷水屋さんが

既に百五十軒

平署には最近時節柄氷水屋さんの營業願ひが百五十名近く出たので去る廿七日午

一冊の代金で

御希望通りな

五冊の雑誌が

自由に讀める

川崎巡回文庫

電話六三〇番 (申込次第規則書進呈)

上田醫院

平町南町 電話一九二番



明治太平記

（作）寺島征史
（書）野口梧村

第三百十五回

情 艶 (二)

「心を許してもまだ肌をゆるさんのうハッハ、ハッハ、」
江藤は自分の慾情の拙劣さを苦しく豪快さうな笑ひにまぎらした。

おれの意に従へ……とあからさまに云はれぬ處に江藤の、戀を輕蔑する片意地さがあつた。

議論では大久保、岩倉にまで正面から突ツかゝる程の彼も、女のことに関しては大隈と五十歩百歩だつた。しかし江藤は、天性麗質をそなへたおふくをほとんと掌中におさめたのだ。あと薄紙一重のへだたりで全く自分のものとなる。そこに彼の誇りと、悩みがあつた。

おふくは彼の悩みを感應したのかせぬのか、花片のやうな頬に微笑をたゝへた。儘なほも按腹に餘念がない「おふく」
彼はおふくの纖手の觸感に溺れながら呟くやうに云つた。
「はい、なんで御座いますの」
「おれの悩みがわかるか」

「まアきついお目……」
おふくは笑ひにまぎらはさうとするのを、江藤はおさへる様にして、
「おふく」
その聲はするどかつた「えい！」
「おぬし女ではないな」
「まア」
おふくはあきれたと云つた顔を、すぐまた花片の様に媚笑して見せた。
「いやその媚のある笑ひにはたぶらかされぬぞ。お主男だな」
手を延べて肩をつかまう



おふくは男の顔を覗く様にした。と、彼はいきなりおふくの手首を握つた。強く、やさしく……。
「おふく……」
最後の望みを訴へようとしておふくを見上げた江藤は急に握つて居た女の纖手を離して、身を起した。彼じいとおふくを凝視した。

濱でいゝ新島原で紅毛人相手の高等……
「いや、それはおのれ自身の吹聴だ。おれが現實に見たわけではないぞ、おのれの容姿は纖手は女にちがひないが、その眼がよろしく見ると劍がある。あきらかに男の眼だ」
「いゝえ」
おふくの顔は白蟻のやうに蒼ざめていつた。膝をくずしたまゝうつむきがちに江藤を上眼で見た。
「おふく、いやさ男、どうぢや。いゝ加減で尻ぼをあらはさぬか」
江藤は全く起き直り大あぐらをかいて射るやうな眼をむけた。

五月武者人形 大賣出し

御座敷職、布鯉、鎧、兜 諸道具類一式

叶・加藤商店

新車御披露
素晴らしい乗心地の!!!
三十五年式流線型新車が参りました

三井タクシー
電話六八五番

わきが

効力本位、官許良薬海外に迄有名、價五十銭誰にも氣付かれぬ様送る双葉郡浪江下町西 田村本家

株 債 券
株式賣買ノ忠實ナル御相談相手トシテ御利用下サイ
尚御希望ノ方ニハ當店獨特ノ「野線上ヨリ見タル新東觀測」ヲ御送シマス是非一度御覽ヲ願ヒマス
株式債券現物賣買
丸井株式会社
平町田町 七十三
電話 四六番

外務員募集
◇水戸市井傳醬油店特ニ醸醬油一手卸販賣イタシマス
御取引御希望ノ方ハ御報次第店員參上致サセマス

夜 間
腸胃 性病
胃腸病科 性病科 皮膚科
院科性病腸胃村松
(平町南町一七〇番)

久益屋商店

磐城セメント會社特約店
磐城平町五丁目 電話九番九九
□良品廉賣に勝る商略なし
□確實敏捷は 生命なり